



サービス提供責任者研修会
(兼東海北陸ブロック研修)



現任研修会
(50周年記念事業)



もくじ

- サービス提供責任者研修会
兼東海北陸ブロック研修会 2・3
- 現任研修会 (50周年記念事業) 4・5
- 50周年によせて 6
- 事務局からのお知らせ 8

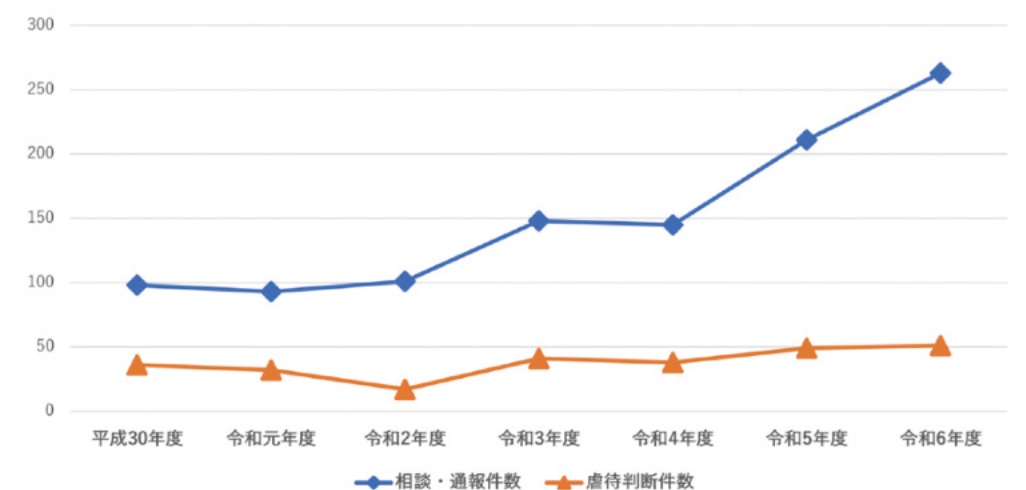
厚生労働省実施「令和6年度高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」より抜粋 調査結果（愛知県）

養介護施設従事者等(※)による高齢者虐待

(※)養介護施設従事者等…介護老人福祉施設、居宅サービス事業等の業務に従事する者

令和6年度に県内市町村で受け付けた養介護施設従事者等による高齢者虐待の「相談・通報件数」は263件で、前年度と比較して52件(24.6%)増加しました。
このうち、「虐待の事実が認められた事例(虐待判断件数)」は51件で、前年度と比較して2件(4.1%)増加しました。

養介護施設従事者等による高齢者虐待相談・通報件数及び虐待判断件数の推移



※相談・通報件数…調査対象年度に市町村が相談・通報を受理した件数

※虐待判断件数…調査対象年度に市町村等が虐待と判断した件数(県と市町村が共同で調査・判断した事例及び県が直接受理し判断した事例を含む。)

出典：厚生労働省HP ＊ページID：0498010 掲載日：2025年12月25日更新



※愛知県県ホームヘルパー連絡協議会主催 サービス提供責任者等研修会 (兼東海北陸ブロック研修)

令和7年11月21日(金)開催

「身体拘束と虐待・ ハラスメント対策 ～こんなときどうする?～」

講師 株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤 亜記 氏



高齢者虐待防止・身体的拘束廃止研修

一宮市社会福祉協議会 いちのみや指定訪問介護事業所 山口 笑理子

法律の理解と遵守

コンプライアンスについて調べると「法律遵守・特に企業活動において社会規範に反することなく」「公正公平に業務遂行することをいう」と書かれています。

適正な事業所運営とは、人員基準等の運用を守り、必要な記録帳票を守り、必要な記録帳票を作成・保管し法律に則ったサービスを提供することです。

虐待防止再発防止に向けて組織運営面における何らかの問題が職員の行動に影響していると考えられます。

経営や組織運営の問題と職員個人が抱える問題が相互に影響し虐待が発生している可能性があります。

繰り返し虐待や不適切な対応が発生している状況虐待防止に向けた組織的な対応を積極的に行う必要があります。(アセスメントが必要)

身体拘束と虐待の講義では、過去に虐待を疑われた事例に接したことがあるか?等をグループワークで話し合うことができました。

ハラスメントの講義では、ハラスメントに慣れてしまっている自分に気づくことでガマンしない、させない安心して働ける環境づくりが大切であると学ぶことができました。



令和7年3月 厚生労働省老健局発行
「介護施設・事業所等で働く方々への身体拘束廃止・防止の手引き」
<https://www.mhlw.go.jp/content/12304250/001643323.pdf>

事例発表とグループワーク

事例発表者 豊山町社会福祉協議会 西川 やよい 氏
刈谷市社会福祉協議会 木山 史之 氏
岡崎市社会福祉協議会 小原 修子 氏

グループワークで「利用者さんの今と昔」的な話がありましたが、見守りカメラがついているなど、利用者サイドもICT化してきてるなと感じました。スマホやパソコンを使いこなし、写真の年賀状を作っている利用者さんもみえます。私がヘルパーを始めた頃は、まだ戦争の話をする利用者さんも多かったと記憶していますが、最近ではめっきり聞かなくなりました。

研修会に参加すると、多くの事業所の方と会う事ができ、情報交換できるのでとても大切な機会となっています。今回の事例発表も気になる情報が満載で、午後の時間帯でも眠くなる暇はありませんでした。私の事業所では、新年度からICTの導入に向けて準備を進めているところです。慣れない作業に四苦八苦しながら、写真の扱い方など気になっていた話も聞けてとても参考になりました。システムの変更やタブレットの購入など金銭面はもちろんの事、メリット、デメリットがある事も実感しました。やる以上は「やっぱりやってよかったね」とヘルパー全員が思えるよう日々努力していきます。



収益を上げる事も要求されるので、加算も取っていききたいところですが現状厳しい面もあります。国や県からの書類は難解な言葉も多く、理解するのに苦労します。長年勤めているヘルパーが多く、知識のアップデートも必要だと感じています。これからもアンテナを高く上げ、情報収集していきたいと思います。



現任研修会

令和8年2月25日(水)開催

【講演】50周年記念講演

～ごぼう先生のヘルパーさん達が元気になる体操～

講師 株式会社GOBOU 代表取締役 築瀬 寛 氏



現任研修会（50周年記念事業）に参加して

「恋する100歳を増やす」SNSでも人気のごぼう先生の講演会、とても楽しみにしていました。インスタをフォローしている私としては、アイドルのライブにでも行くような感覚です。ヘルパーとはあまり関わりが無いような気もしていましたが、椅子に座ってできる体操は脳トレ的な部分もあり、利用者さんに「こんなの教えてもらったよ。」と会話のきっかけになりました。事務所に戻ってから、デイサービスの職員に自慢したのは言うまでもありません。



愛知県ホームヘルパー連絡協議会 50周年という節目に、これまで先輩方が築いてきたものをこれからも大切に受け継ぎながら利用者様ひとり一人の思いに寄り添う支援を続けていきたいと思っています。

年々厳しい状況に置かれてますが、変化する地域や社会のニーズにも柔軟に対応し安心して在宅生活を送っていただけるようこれからもみなさんと共に学び成長できたらと思います。そして人材不足の話をよく聞きますが、たくさんの方にホームヘルパーの魅力をどう伝え人材確保に繋げていくか改めて考えていきたいです。

高浜市社会福祉協議会
指定訪問介護事業所
齋藤 真紀

50周年、おめでとうございます。

わたしもヘルパーになって23年目になります。

長く続けてこられたのは、ヘルパーという仕事のやりがいと良い仲間に出会い支えられてきたからだと思っています。

今の部署（サ責）でも今後が楽しみな若い人達と一緒に働くことができています。

100周年に向かって、これからも自分達も笑顔で、利用者にも笑顔になっていただけて安心を届けられるように少しずつでも進んでいきたいです。

豊橋市社会福祉協議会
大石 典子

愛知県ホームヘルパー連絡協議会 50周年誠におめでとうございます。

半世紀にわたり、地域福祉を支えてこられた歩みに深く敬意を表します。

利用者一人一人の尊厳に寄り添う姿勢こそが皆さまの誇りであり財産です。

これからも専門性を高め合い次世代へと思いをつなぎながら誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献されることを心より願っております。

一宮市社会福祉協議会
いちのみや訪問介護事業所
山口 笑理子

50周年おめでとうございます

この50周年のほんの数年ですが協力できたことを大変うれしく思います。

50年の中で制度もどんどん変わり、経営状況、人員など著しく変化し、苦慮すること多かったと思います。その苦労を無駄にせず、今後の発展に向けてコツコツ地道に取り組み、地域とのつながりを大切にしながら利用者様に笑顔や安心を届けられるよう今後も務めていきたいと思っています。

みよし市社会福祉協議会
太田 有希

愛知県ホームヘルパー連絡協議会 50周年という大きな節目を迎えられたことは、先輩方のたゆまぬ努力と、利用者様・地域の皆様の温かいご支援の賜物であると存じます。私共もこれまで築き上げた信頼と実績を大切にしつつ、新たな時代のニーズに応える革新と挑戦を続けてまいります。会員一人ひとりが誇りと責任を胸に、次の50年も社会に貢献し、皆様に愛される組織であり続けることを願っています。

刈谷市社会福祉協議会 訪問介護事業所
木山 史之

50周年によせて

設立50周年、誠におめでとうございます。大変嬉しく思います。

これまで協議会を支えてくださった皆様、そして現場で奮闘する仲間へ深く感謝いたします。

これからも、一人ひとりの利用者様の「声」に耳を傾け、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会の実現を目指し続けたいと思います。

次の50周年に向け、向上心を持ち続け、一層情熱を持って仲間と共に歩んでいきたいと思っています。

豊山町社会福祉協議会
ヘルパーステーションしいの木
西川 やよい

愛知県ホームヘルパー連絡協議会 50周年によせて

ひとことで50周年と言っても、続けるという事は簡単なことではないはずです。

つとい101号にしても、今までそこに関わってきた人達の熱い思いが脈々と受け継がれてきた結果だと思っています。そして、そこに少しでも関わる事ができたことをうれしく思います。ヘルパー不足と言われる中で、ヘルパーのやりがいをどうやって伝えていくのか、課題はたくさんあると思います。先輩方の熱い思いを後に続く人たちに少しでも伝えていけるよう、この先も関わっていけたらと思います。

犬山市社会福祉協議会
横井 史子

50周年という節目を迎えられたことをうれしく思います。長年にわたり、支えてこられた諸先輩方の積み重ねがあってこそ、現在の活動があると感じています。

ヘルパー連絡協議会は、日頃はそれぞれの現場で活動しているヘルパー同士が横の繋がりを持てる場であり、現場での悩みや工夫を共有できる機会があることは私たちにあって大変、心強く重要なものです。

制度改正や生活環境の変化が続くなかで、ヘルパーという仕事を続けていくには常に学び続けることが大切です。これからも現場の声をヘルパー連絡協議会に届けながら、困っている事へのヒント等を頂き、それを日々の支援にいかせていきたいと考えています。これからもよろしく願いいたします。

東海市社会福祉協議会
ヘルパーステーション
池田 ひとみ

愛知県ホームヘルパー連絡協議会が50周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

これまで多くのヘルパーの方々が、利用者様の生活に寄り添い、日々支えてこられた50年という長い歩みにあらためて温かさを感じています。

時代は変わっていきますが、人と人のつながりや、寄り添い支え合う気持ちはいつまでも変わらないものだと感じています。

これからも利用者様らしい暮らしをお手伝いできることの大切さを胸に、サービス提供責任者をはじめ仲間とともに貢献していきたいと思っています。

東郷町社会福祉協議会
柘植 真紀

事務局からのお知らせ

2024年
改訂!

各種マニュアル冊子の販売について

「2024年改訂版 サ責とヘルパーのための訪問介護マニュアル」を発行いたしました。



サ責とヘルパーのための
訪問介護マニュアル

会員 700円 会員外 800円



訪問介護マニュアル老計10号
(※令和元年版です)

会員 300円 会員外 400円

事業所での研修や介護技術の基礎確認、介護事故の予防等にもお役立てください。
ご購入希望の方は、事務局へお問合せください。

50周年ありがとうございます

本年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会は50周年を迎えることができました。
会員の皆様と歩んできた50年。
介護保険法の改正等により訪問介護事業所をとりまく状況は、
依然厳しいものとなっておりますが、これからもホームヘルプサービスの
充実をめざして、実践的な介護実習等の充実した研修会などを催し
邁進してまいります。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



愛知県ホームヘルパー連絡協議会 つとい* 第101号

住所 名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉会館内

TEL (052)212-5502 FAX (052)212-5503

発行 令和8年3月

編集・発行 愛知県ホームヘルパー連絡協議会 広報委員会

この冊子は愛知県共同募金配分金で作られています。

